



社会福祉法人

小豆島町社会福祉協議会



この広報誌は共同募金助成金の一部で発行しています



ふくしだより

FUKUSHI DAYORI

No. **38**
2025.4



Contents

- ・石川県珠洲市災害ボランティアセンター運営支援報告
- ・第7回 小豆島町社会福祉大会 開催
- ・小豆島中央高校 総合的な探究の時間「權風」(かいふう)
 - ▷こども園の子どもたちの生活習慣病を予防しよう
 - ▷介護職に就く人を増やすには
- ・赤い羽根共同募金・社協会費・賛助会費・寄付報告



小豆島
みんなの
福祉展

本所：☎ 82-5318 / 支所：☎ 75-0018

小豆島町社会福祉協議会





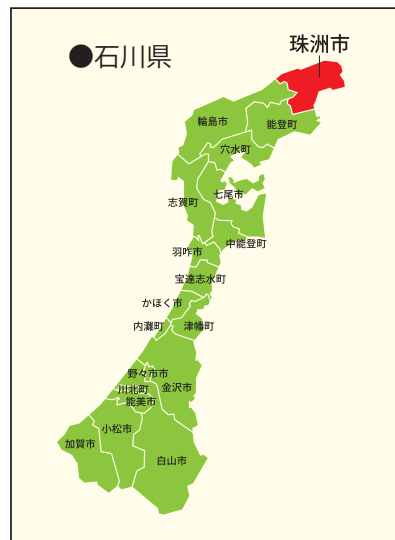
珠洲市災害ボランティアセンター 運営支援報告

小豆島町社会福祉協議会 岡田 真弓

令和6年1月1日に発災した能登半島地震で、珠洲市災害ボランティアセンターが開設されました。全国の社協に応援職員派遣要請がかかり、私は四国ブロックで8/5から8/11まで珠洲市へ運営支援に行きました。

災害が起こると、社協が災害ボランティアセンターを立ち上げ、現地調査・ボランティアの受入れや調整・被災者のニーズとボランティアをマッチングし、生活再建支援を行います。

金沢から車で、4時間近くかけて現地入りをしました。発災から7か月以上経過していましたが、復興はまだまだ進んでいない状態でした。



オリエンテーション・マッチング



全国から社協職員集結



珠洲市ボランティアセンター受付



珠洲市職員と四国ブロックメンバー



道脇に全壊・半壊の家



ブルーシートで覆っている家



地震による土砂災害



家屋の全壊により車が下敷き

道中は、奥能登の方へ進むにつれ、道路はひび割れ、陥没、土砂崩れが見られ、珠洲市に入ると、ブルーシートで覆ってある家、全壊、半壊の家が多くありました。

少しずつ、復興に向けて進んでいる中、9月の豪雨水害で多くの被害が出て、これまでの復旧が台無しになる大変な状況となり、心が折れてしまったと肩を落とされていました。

地震は瓦礫運びや、家財道具、ゴミの搬出等が主な作業になりますが、水害になると、土石流、流木の撤去、泥のかき出し、泥が乾くと粉塵が舞うなど、地震より更に人手と力作業が必要になり、災害とはいえ同じではありません。

珠洲市は、海に面した所が多く、人口、高齢化率等、小豆島と似ている所があります。発災当初は、道路が寸断、海岸隆起のため船が着岸できないという孤立状態になりました。

陸続きではない小豆島は、更に厳しい状況になると考えられます。孤立状態の中、外部からの支援がくるまでは、地域の中で助け合って乗り切るしかありません。

昨今、災害が各地で起きています。幸いなことに小豆島は、昭和49年、51年の台風による土砂災害以後、大きな災害が少ないので、気の緩みがあるかもしれません。能登半島地震のように元旦にまさかの地震が起こるように、南海トラフ地震もいつくるか分かりません。

日頃から、備蓄品の備え、緊急時の連絡等家族で話し合っておくことも大切です。なにも無ければそれでよし。何かあってからでは遅いのです。

地域の中でも、いざという時にどう動くか、避難経路等確認をしておいてください。



第7回 小豆島町社会福祉大会 開催



令和6年12月17日、サン・オリーブにおいて第7回小豆島町社会福祉大会を開催しました。

本大会は、3年に1度町内の福祉関係者が一堂に会し、「誰もが安心して暮せる福祉のまちづくり」の実現を目指し、私たち一人ひとりが今後の活動に取り組む決意を新たにするとともに、多年にわたり本町社会福祉の発展に貢献された方々の顕彰と記念講演を行うものです。

また、サン・オリーブ2階の情報プラザにおいて、町内15の社会福祉施設利用者の作品展示（小豆島みんなの福祉展）を1月末まで行いました。

大会には、民生委員児童委員、福祉委員などボランティア活動に参加されている方々をはじめ自治会、行政関係者、社会福祉施設関係者など200人の方々に参加を頂きました。

記念講演では、「歌って・笑って・若返る」との演題で、音楽療法士の川向由起子先生に、マリンバとピアノを使った音楽療法を実践していただき、会場全体が歌と笑いに包まれました。

大会は、住み慣れた地域で安心して暮していくために、地域での絆を大切に育み、誰もが孤立せずに生き生きとした生活が送れる地域共生社会を確立していくことを決意して幕を閉じました。

今回表彰を受けられた方々は次のとおりです。長年にわたる地域社会への貢献に敬意を表しますとともに、今後のご活躍を祈念いたします。また、結婚60周年のダイヤモンド婚、50周年の金婚の証書を受けられた皆様、おめでとうございます。末永くお幸せでありますことをお祈り申し上げます。



功労表彰者名簿（敬称略）

◆ 民生委員児童委員功労 ◆ ◆ 地域福祉事業奉仕活動功労 ◆

〈地区〉	〈氏名〉	〈地区〉	〈氏名〉
草壁本町	江口美鈴	木庄	渋谷健治
草壁本町	土居富夫	苗羽	新田早苗
片城	市坂勉	二面	三木説子
馬木	石井正信	草壁本町	中井丈二
坂手	空田利一	安田	戎桂子
福田	三浦三千雄	池田	岡田恕枝
吉野	吉岡正信	苗羽	木村敏夫
神浦	三木眞優美		

◆ 地域福祉活動功労 ◆ ◆ 社会福祉協議会役員功労 ◆

〈地区〉	〈氏名〉	〈地区〉	〈氏名〉
神懸通	橋本圭子	池田	三木功
安田	坂下順一郎		
安田	若口津賀子		

ダイヤモンド婚・金婚証書贈呈者（敬称略）

◆ ダイヤモンド婚 ◆

〈地区〉	〈氏名〉
苗羽	木下光三・恵子
神懸通	堀高昭・素子
蒲生	中西明・礼子
福田	金近強氏・洋子

◆ 金婚 ◆

〈地区〉	〈氏名〉
坂手	辰力省三・富子
苗羽	木村敏夫・勝子
木庄	山本芳嗣・裕子
草壁本町	木下信吾・明美



小豆島中央高校 総合的な探究の時間「權風」(かいふう)

子どもチーム こども園の子どもたちの生活習慣病を予防しよう

私たちは総合的な探究の時間『權風』(かいふう)の時間に健康、福祉について考えています。私たちのテーマは「こども園の子どもたちの生活習慣病を予防しよう」です。そのために私たちは、実際にこども園に行って子どもたちと遊び、子どもに遊ぶことの楽しさを知ってもらい、体を動かす習慣をつけてもらおうと考えました。



現在、生活習慣病の中の「糖尿病」は日本で約 1,000 万人いると厚生労働省が発表しています。また、糖尿病予備軍も約 1,000 万人いるとされ、「国民病」と言われています。食生活の変化や運動不足などのライフスタイルの様々な変化の波は、子どもたちを飲み込み、「肥満」「高コレステロール」などの子どもが増えています。実際に、香川県が行った健康調査で生活習慣病のリスクがあるとされている「脂質異常」が見られた小学 4 年生の割合が 11% とこれまでで最も高い割合でした。香川県は、人口あたりの糖尿病による死亡率が全国上位のため、子どものうちから生活習慣の意識を高めようと、県内の小学 4 年生と中学 1 年生を対象に、毎年度、血液検査などの調査を行っています。

これらのことから、生活習慣病の子どもを減らしたいと思い、子どもの時から体を動かす習慣を身につけてほしいと考え、子どもの生活習慣病予防を研究の対象として選びました。これからは健康福祉の課題について『權風』の時間を通して考えていきたいです。

ふくしチーム 介護職に就く人を増やすには

私たちは総合的な探究の時間『權風』(かいふう)の時間で「介護職に就く人を増やす」というテーマで活動しています。なぜなら、これから高齢化がさらに進むと考え、介護職の重要性が増すと思うからです。

私たちは高校 2 年生を対象に介護職に就きたいかというアンケートをとりました。その中で介護職に興味がない人が大半を占めており、その理由は重労働や精神的に辛いからということでした。

そこで、介護職のことを知ってもらうため、高齢者の方々と私たちが実際に関わりそれを動画にして YouTube に投稿しようと考えました。

私たちはサンシャイン会の利用者の方に、紙飛行機を飛ばして紙コップのタワーを倒す遊びをしていただくことにしました。これは、体を動かすことでリハビリができたり、ストレス発散に繋がったりします。

実際に関わってみて思ったことは、思っているよりも大きい声を出さないと声が届かない、相手の様子も見ながらこちらの企画を進めるのは難しいということです。しかし、大変なこともあった反面、嬉しいこともありました。それは、一緒に企画を楽しんでくれた利用者の方が終始笑顔でいてくれたことです。「楽しい」「面白いね」と言ってくれた時は、とても嬉しかったです。介護の仕事は入浴介助などの肉体的労働のイメージが強いかもしれませんが、私たちが思っていたよりも楽しく関わることができました。

私たちはこの企画を通し、介護職に対し楽しいプラスのイメージを持つことができました。多くの方にもこのようなことを知っていただきたいです。動画はサンシャイン会の YouTube チャンネルに投稿しています。お時間がありましたらぜひ見ていただきたいです。





赤い羽根共同募金



共同募金報告

(令和6年10月1日～12月31日)

みなさまからの温かいご支援、ご協力により多くの善意が寄せられました。心から感謝申し上げますとともに、募金結果をご報告いたします。

今後とも引き続きご協力くださいますようお願い申し上げます。

みなさまから寄せられた募金は、香川県共同募金会にて集められた後、一部が令和7年度に小豆島町の地域福祉活動資金として助成されます。

募金額内訳

(単位：円)

戸別募金	3,779,000
法人募金	129,500
職域募金	245,000
募金箱	34,293
街頭募金	24,440
自動販売機	203,803
その他	18
合計	4,416,054



令和6年度助成報告

4,243,000円

- ・小豆島町社会福祉協議会
- ・池田老人クラブ
- ・内海老人クラブ
- ・小豆島町老人クラブ連合会
- ・小豆郡手をつなぐ育成会
- ・小豆島町障害者スポーツ大会事務局
- ・小豆地区保護司会東分区
- ・小豆郡生活研究グループ
- ・さわやかクラブ（草壁本町南）
- ・小豆島町婦人会池田支部
- ・西村原自治会
- ・西村中条自治会
- ・片城さわやかクラブ
- ・あずき♪島っ子合唱団
- ・北地老人クラブ 北陽会
- ・中山農村歌舞伎保存会

あたたかな善意をありがとうございました。

令和6年4月～令和6年12月

寄付件数	4 件
寄付合計金額	206,310 円



寄付にご協力お願いします

社協の財源の一つが、みなさまから寄せられる会費や寄付金です。こうした財源は社協の事業を行う上で大きな支えとなっています。金額の多少を問わず、年間を通じて受け付けております。どうぞお気持ちをお寄せください。

社会福祉事業へのご寄付は寄付金控除の対象となります。

ご寄付いただいた方の氏名は町広報紙に掲載しておりますのでご覧ください。

令和6年度 小豆島町社協会費報告

(令和7年2月1日現在)

《一般会費》 1,099,400円

《賛助会費》 1,403,000円

ご協力ありがとうございました。



10月27日(日)
商工まつりで
募金活動をし、
24,440円
集まりました。
ご協力ありがとうございました。

